

3. グローバル健康環境教育研究推進プログラム

本プログラムでは、グローバルな医療人としての広範かつ高度な専門性と高い使命感、領域を超えた汎用力を修得し、国際的な保健衛生・公衆衛生に指導的な立場で貢献できる高度先導的薬剤師として、文理協働による国際的な医療活動や、発展途上国における感染症予防や食・環境の安全確保、さらに国際的な保健衛生の課題解決や発展途上国での保健衛生・医療教育に貢献できる薬学研究者や薬剤師の養成を目指す。

参画大学においては、すでに第2期中期目標期間中に実施した「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」事業ならびに、第3期中期目標期間中から引き続き実施している「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発」事業において、6年制学部及び4年制大学院博士課程の教育研究プログラムの充実を図っており、その発展的な継続、さらにはこれらを基盤とする新たなプログラムの開発と実施が期待される。

6年制薬学部及び大学院博士課程の教育研究における「グローバル健康環境教育研究推進プログラム」については、国公立大学における豊富な国際的な教育研究交流、特に東南アジア等における感染症対策などの保健衛生・公衆衛生上の課題や環境問題、食糧問題といった健康環境に係る研究を実施している機関・大学との交流実績を基盤として実施する。本プログラムとしては、グローバルな視点での実践的なコミュニケーション能力を修得する実践的語学教育プログラム（共通）から、学部及び大学院博士課程における国際保健衛生・公衆衛生教育研究プログラムや文理協働型発展途上国健康環境インターンシッププログラムといった発展途上国を中心とした海外における教育研究活動の実施が挙げられる。後者については、SDGs達成に向けた実践的フィールドワークなどが有用である。

【2023年（令和5年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<富山大学>

○ 薬学概論の一部 (*)

- ・学部生を対象。公務員として活躍している薬剤師から仕事内容等の講義を受け、薬剤師が健康環境へ貢献していることを学ぶ。

<岡山大学>

○ 山田養蜂場 訪問研修会 (*)

- ・学部生・大学院生を対象として、企業の説明を受け、研究所にて健康食品や化粧品の素材研究等について学び、商品開発の体験型研修を行った。また、品質保証部門についての説明も受けた。2023年9月5日開催。学部生10名、事業運営委員会委員の教員1名。

< 静岡県立大学 >

○薬学概論

- ・薬学部1年生対象の薬学概論の講義で、「健康を守る薬学（薬事行政）として行政の担当者を講師とする講義を行った。

< 和歌山県立医科大学 >

○ブルネイダルサラーム大学学生交流プログラム

- ・学部生を対象。2023年9月、大阪大学とブルネイダルサラーム大学（UBD）との学生研修プログラム「大阪大学ASEANキャンパス キャリアアドバンス英語プログラム inブルネイ」に学生3名が参加し、UBD Tropical Biodiversity Center等において生物多様性の保全や環境汚染問題に関する研修を行った。

○山東大学学生交流プログラム

- ・学部生を対象。2024年3月、学術交流協定を締結している山東大学が主宰する学生交流プログラムに医学部・保健看護学部の7名の学生と共に、薬学部の学生3名が参加した。学内の医療、教育、研究関連施設での見学や研修、現地学生との交流を行った。

○香港中文大学学生交流プログラム（招へい）

- ・学部生を対象。2023年6月、学術交流協定を締結している香港中文大学から10名の薬学部生を招へいし、学生交流プログラムを実施した。附属病院、学外の病院・薬局の見学、本学の学生対象の実習・演習への参加、学生企画プログラムへの参加を通して、交流を深めた。

○香港中文大学学生交流プログラム（派遣）

- ・2024年3月、学術交流協定を締結している香港中文大学へ6名の薬学部生を派遣し、学生交流プログラムを実施した。附属病院・学内施設の見学、授業への参加、学生企画プログラムへの参加を通じて、交流を深めた。